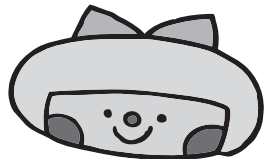


Q031

寒いときに

鳥肌になるのは

なぜ？



鳥肌は、人間が毛に覆われていたころの名残と考えることができる。

気温が低くなると、動物の脳は交感神経を活性化させる。すると、毛の生えている立毛筋が縮まり、盛り上がって、毛がぴんと立つようになる。毛が立つことで暖かい空気の層ができて、体温が保たれるのだ。

寒くなると人間にも同じことが起こるが、肌がむき出しのため、立毛筋が盛り上がった状態がそのまま見える。これが

鳥肌だ。立毛筋の収縮によって、熱が生み出され、かつ毛穴が閉じて発汗を抑える効果があるので、人間にとっても鳥肌は、寒さを防ぐのに役立つている。

